

第5回貿易のための援助（A f T）グローバル・レビュー会合 （結果概要）

平成27年7月
経済局国際貿易課

6月30日から7月2日まで、ジュネーブのWTO本部において貿易のため援助（A f T）第5回グローバル・レビュー会合（GR会合）が開催されたところ、概要以下のとおり。GR会合は、WTOが中心となって取り組んでいるA f Tに関し、現状を総覧するとともに、効果的な援助のあり方について議論を行うため、WTO・OECDの共催により隔年で開催されている閣僚級会合。

【参考】貿易のための援助（A f T： Aid for Trade）

貿易分野における能力構築やインフラ供与などの途上国支援の総称。途上国の貿易関連能力の向上による経済発展と貧困の削減を目的としている。

1 出席者

- （1）各国政府閣僚級（計11名）は、モハメド・ケニア外務・国際貿易長官、アディ・リベリア通商産業大臣、パーセル・サモア公共事業大臣、カマラ・シエラレオネ貿易産業大臣、セティパ・レソト貿易・産業大臣、テテ・ガーナ外務・地域統合大臣、コナテ・マリ貿易・産業大臣、サレー・チャド経済・商業・開発大臣、サール・セネガル商業・インフォーマルセクター・消費・国産品販売促進・中小企業大臣、ヨンブノ・ギニア通商大臣、ダウ・ブルキナファソ工業・商業・手工業大臣が出席した。我が国から、小田部在ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使、加藤JICA理事他が出席した。
- （2）国際機関から、アゼベドWTO事務局長、グリアOECD事務総長、キム世界銀行副総裁、アフリカ開発銀行関係者、米国国際開発庁（USAID）関係者、中尾アジア開発銀行総裁、御厨世界税関機構（WCO）事務総局長が出席した。

2 議論の概要

- （1）今次会合では、「包括的且つ持続可能な成長に向けた貿易コストの削減」をテーマに、国際貿易における貿易コストの削減に向けた取組、貿易円滑化の実施、地域統合に向けた取組、インフラ開発（コネクティビティの向上）及び南南協力のあり方等、ポスト2015年開発目標における経済発展の視点等も踏まえ議論が行われた。
- （2）WTO発足20周年を迎える本年は、多角的貿易体制の強化にとって重要な節目となると同時に、7月にアジスアベバにて第3回国連開発資金会議、9月にニューヨークにてポスト2015開発アジェンダサミット及び12月にケニアにてWTO第10回閣僚会合が開催されることから、開発分野にとっても極めて重要な年であるとの認識を共有。
- （3）アゼベドWTO事務局長から、貿易円滑化の推進、途上国に対するインフラ支援の強化は、貿易コストの削減に繋がり、脆弱国、中小企業、女性等経済活動が制限される弱者の支援、貧困の削減及び世界貿易の拡大に繋がる旨発言有り。
- （4）我が国はA f T主要ドナー国として（注：2011年から2013年実績は世界第1位）積極的に議論に参加し、途上国支援に関する取組実績につき紹介する機会を得たことにより、改めてこの分野におけるプレゼンスを示すことが出来た。

（了）